

七条中学校だより9月5号

京都市立七条中学校

令和8年9月7日

発行: 校長 林 秀雄

定期テスト 2 に向けて 4 「分かった」を「どう使うか」に変える

これまで学校だよりでは、「目標設定」「計画の立て方」、そして「情報収集・基礎づくり」「理解・整理」について考えてきました。テスト勉強を進める中で、教科書やノート、ワークなどから必要な情報を集め、基本的な知識や技能を身に付けることはとても大切です。また、それぞれの知識や内容を関連付けながら整理し「なぜそうなるのか」を理解することで学びは深まっていきます。

しかし、本当の力は、「理解した」で終わるものではありません。定期テストでは、覚えたことや理解したことそのまま答える問題だけでなく、学んだ知識を使って考えたり、判断したりする問題も数多く出題されます。

例えば、国語では文章を読み取り、複数の情報を比較しながら筆者の考えや登場人物の心情を読み取ります。数学では、いくつかの公式や解法の中から、どれを使えばよいのかを判断しなければなりません。理科や社会では、資料やグラフ、実験結果などから分かることを分析し、自分なりに考察する力が求められます。英語でも、覚えた文法や単語を活用しながら、場面に合った表現を選ぶ必要があります。

つまり、テストで問われるのは、「何を知っているか」だけでなく、「その知識をどう使うか」なのです。そのためには、問題を解いた後の振り返りが大切になります。答え合わせをして終わるのではなく、「なぜこの答えになるのだろう」「どこで考え違いをしたのだろう」「次に同じような問題が出たらどう解くだろう」と考えることで、**思考力や判断力**は鍛えられていきます。

さらに、学びを深める方法として大切なのが、仲間との学び合いです。友達と問題を出し合ったり、解き方を説明し合ったりすると、自分とは異なる考え方や着眼点に気付くことがあります。「なるほど、そんな見方もあるのか」という発見は、一人で勉強しているだけでは得られない貴重な学びです。

七中祭の合唱練習でも、一人一人が練習するだけでは素晴らしい合唱は完成しません。お互いの声を聴き合い、気付きや工夫を共有することで、クラスの合唱はより良いものになります。学習も同じです。自分で考えることと、仲間と学び合うことの両方によって、理解はさらに深まります。

定期テストまであと8日となりました。この時期は、ただ問題数をこなすことを目標にするのではなく、「**なぜそう考えたのか**」「**他の解き方はないのか**」「**自分の考えを説明できるか**」を意識して学習に取り組んでみてください。

知識を集めることから始まった皆さんの学習が、「考える力」「判断する力」「伝える力」へと成長していくことを期待しています。そして定期テストを通して、単なる点数だけではない、本物の学び力を身に付けてほしいと思います。

「0 から 1」の大切さ 最初の一步が未来を変える

みなさんは、「やらなければならない」と分かっているのに、なかなか始められなかった経験はありませんか。宿題に取りかかろうと思っていても、気がつけばスマートフォンを見ていたり、テレビを見ていたりすることがあります。テスト勉強を始めようと思って机には向かったものの、まず部屋の片づけを始めてしまったという人もいるかもしれません。

実は、物事で最も大きなエネルギーが必要なのは、「始める瞬間」です。例えば、重い石を押す時です。最初はなかなか動きません。しかし、一度動き出すと、思ったより少ない力で前へ進んでいきます。これは私たちの日常でも同じです。朝、布団から出る時を考えてみてください。「あと5分だけ」と思ってしまいます。しかし、一度起き上がり、顔を洗い、着替え始めると、自然と学校へ行く準備が進んでいきます。部活動でも同じです。「今日は練習に行くのが面倒だな」と感じる日があるかもしれません。でも、実際にグラウンドや体育館に行ってみると、仲間と声を掛け合いながら一生懸命取り組んでいる自分に気づくことがあります。

勉強もそうです。「今日はやる気が出ない」と思っていても、とりあえず問題を1問解いてみる。教科書を1ページ読んでみる。すると、不思議と次の問題、そのまた次の問題へと進めることができます。多くの人は、「やる気が出たら始めよう」と考えます。しかし、実際には「始めるからやる気が出る」のです。

だから大切なのは、大きな目標ではなく、小さな一歩です。●まずノートを開く。●まず1ページ読む。●まず運動靴を履く。●まず「やってみよう」と言ってみる。それだけで十分です。

新しいことへの挑戦も同じです。初めて委員会に立候補する。学級で発表する。苦手な教科に挑戦する。今まで話したことのない人に声をかける。どれも勇気が必要です。しかし、その一歩を踏み出した人だけが、新しい経験や成長を手にすることができます。もちろん、失敗することもあるでしょう。思うような結果になら

裏へ

ないこともあります。でも、何もしなければ何も変わりません。失敗は挑戦した人だけが得られる貴重な経験です。そして、その経験は必ず次の成長につながります。

「できない理由」を探すのは簡単です。しかし、自分の未来を変えるのは、「まずやってみる」という小さな行動です。

今日の一步は小さいかもしれませんが、その一步が明日の自分をつくれます。

皆さんには、ぜひ「0」を「1」に変える行動をとってほしいと思います。七条中学校の皆さん一人一人の挑戦を、私は心から応援しています。